

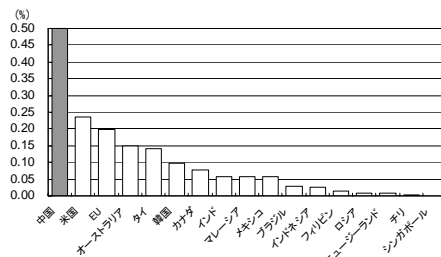
対中投資と日本の空洞化問題

- 対中投資は日本の空洞化の原因になり得るのか？
 - 2006年の対中投資は61.7億ドル
 - 対外投資全体の12.3%、GDPの0.14%
- 良い直接投資
 - 生産コスト重視(輸出)
 - 比較優位に沿う
 - 資源の配分を改善
- 悪い直接投資
 - 貿易障壁・摩擦回避のため(現地販売)
 - 比較優位に反する
 - 空洞化の原因に

日中FTAの勧め

- 自動車が中国に投資する本当の理由は貿易障壁・摩擦の回避
- 日中FTAが成立すれば、日本の自動車メーカーは国内で生産し、中国向けに輸出する
- その結果、付加価値の高い雇用機会が国内で創出される
- 日中FTAは、日本にとって空洞化対策になる

日本の相手別FTAによるGDPの増加効果



(出所)内閣府による試算、Kenichi Kawasaki, "The Sectoral and Regional Implications of Trade Liberalization," (November 2004)

中国の一人勝ち・日本の一人勝ち

- 中国のGDPは日本の6割、1人当たりGDPは約6%
- 南北格差の縮小が地域の安定に寄与
- 97~98年のアジア金融危機、また現在の朝鮮半島情勢が示唆するように、近隣諸国の貧困と混乱よりもその繁栄と安定のほうが日本の国益になることは言うまでもない。

